

2018年3月26日
JSR(株)人材開発部

JSR 次世代育成支援対策行動計画（第7期目）

1. 計画期間 平成30年4月1日～平成32年3月31日まで
2. 内容

目標 1. 多様な働き方の推進

（平成30年度）

- ①在宅勤務制度の利用対象者拡充に向けたトライアルの実施ならびに制度検討を行い、多様な働き方に対応した制度変更を図る。

（平成31年度）

- ①時間単位年休制度の導入に向けて、平成30年度中に制度設計、システム開発を行い、平成31年4月からの新制度運用開始を目指す。

目標 2. 男性社員が育児休業を取得しやすい環境づくりを行う。

【対策】

（平成30年度）

- ①階層別研修内で、「仕事と育児・介護の両立支援ガイドブック」の内容に触れ、男性社員も育児休業を取得できることや制度の詳細を周知する。
- ②イントラネット掲示板、社内報等を活用し、男性社員の育児休業利用を周知する。
- ③配偶者の出産があった男性社員に対して個別に育児休業の取得を促進する。
- ④育休取得を行った男性社員にヒアリングなどを実施し、改善内容がある場合には、今後の施策への反映を検討する。

（平成31年度）

平成30年度での取組に加えて、

- ①平成31年度に実施する従業員意識調査で各種両立支援制度やダイバーシティ推進に関する認識や意識の調査を行い、結果をイントラネット掲示板で社員にフィードバックする。

目標 3. 女性社員のキャリア形成支援、能力向上を推進する。

【対策】

（平成30年度、平成31年度共通）

- ①女性主事（係長クラス）のうち管理職候補の社員に対して、以下の取組みを行う。
 - ・対象社員一人一人のキャリアプランを本人と上司で作成し、中長期的な育成を実施する。

- ・キャリアを再考したり、ロールモデルに触れたりすることで意識改革を促す教育プランを計画、実施する。

以上